



中之町幼稚園だより

令和 8 年 7 月 号
港区立中之町幼稚園
園 長 酒井 正美

先月の「中之町まつり」では、たくさんの方のご協力とご参加をいただき
ありがとうございました。年長宇宙組が「あかね音頭」教えていただいた
「赤坂あかね会」の皆様もご参加くださり、賑やかな楽しい時間となりました。



遊びの場の保護者、他学年の友達、誰でも通園の 2 歳児ほし組、遊びに来てくれた未就園児との関わりなど、いろいろな人との関りや経験につながる「中之町まつり」となりました。

今年は、梅雨らしさの感じられる天候です。6 月の誕生会では、「雨」について、「昨日の雨は、『ザーザー』と『強い雨』が降っていたけれど、『シトシト』とだんだん弱くなって『ポツポツ』と『小雨』になって、雨が上がったね。雨には、いろいろな降り方、名前があるので、今度雨が降ったら、『今日はどんな雨かな』と、先生や友達、お家の方と話してみてくださいね。」と話しました。

日本語には、降り方や時期により様々に雨を表す言葉があります。梅雨明けが待ち遠しい思いもありますが、雨の様子を見ながら、この季節ならではの会話を親子でするのも楽しいのではないのでしょうか。実際に雨を見ること、感じること、言葉に表し会話することは、豊かな言葉と感性、様々なことへの気付き、思考の育ち、小学校以降の生活や学習、生涯へとつながっていくことでしょう。

この時期、どの学年でも、身近な花や野菜の栽培をしています。子供たちは、蒔いた種から芽が出たり、植えた苗が大きくなったりすることに驚いたり、喜んだりしています。毎日、少しずつ変化する身近な自然に気付き、驚きや喜びを言葉や動きで表現しています。人工的な物や映像が多くある中だからこそ、本物に関わり、見る、触る、聞く、匂いを感じる、といった直接体験をする機会の保障が必要であると思っています。

あと 3 週間程で、1学期が終了します。個人面談等で、入園、進級からのお子さんの成長を振り返り、共有し、次への成長につなげていきたいと思ひます。そして夏休み。大人のペースや娯楽といったことも増える時期かもしれませんが、お子さんが何に心を動かし、何を楽しんでいるのかに心を寄せ、保護者の皆様も共に楽しみ、たくさんの直接体験が積み重ねられることを願ひます。